

2020年3月期 決算説明会 質疑応答の内容

日時：2020年5月20日（水）16：30～17：30

場所：プロトコーポレーション本社（WEB 配信）

代表取締役社長 神谷健司

経営企画部門 執行役員 大出章人

経営企画室 高林成昭

※決算説明会における質疑応答の内容です。当該内容については、ご理解いただきやすいよう部分的に加筆・修正しています。

・2020年3月期 連結業績について(決算説明会資料 P.12)

- Q. キングスオート（現グーネットエクスチェンジ）の赤字が継続しているが、今後の具体的施策について教えてほしい。
- A. 前期からコスト削減を実施しておりますが、具体的な成果を出せておりません。今後、当社とグーネットエクスチェンジ（旧キングスオート）の結びつきを強化することで当社独自の中古車輸出の流れを作り、当社の取引先の販路拡大のきっかけを作りたいと考えております。グループ全体における輸出機能という位置付けをもって、今一度挑戦していきたいと考えております。今期の施策の一つとして、同業他社の中古車輸出会社とのアライアンスを進めております。事業の再構築を図るため戦略の見直しも進めておりますのでご期待ください。

・COVID-19の影響について（決算説明会資料 P.13～P.16）

- Q. COVID-19の影響が大きかった取引先への具体的施策などを行っているのか教えてほしい。
- A. 当社の媒体という立ち位置上、特定のクライアントのみへの支援という形ではないが、一定条件を満たしたクライアントへの支援を実施しております。
- Q. COVID-19の影響で新車や中古車販売における商談は一部オンラインで対応しているとのことだが、今後の商談の在り方について教えてほしい。
- A. オンラインでの商談は今後増えていくと考えております。P.21に記載の通り、現時点においても購入者のうちの3割ほどは実物を見ずに商談を進めているという実状があります。今後、特に地方のユーザーにとっては望む物件が近くにない場合も増えると考えられます。COVID-19の影響が出始めた2020年3月、4月においてはグー鑑定引き合いも増えており、正確な中古車情報を掲示し、オンラインで顔を見合わせて話が出来れば、新たな商談の在り方になると考えております。
- Q. 緊急事態宣言が一部地域で解除されたが、解除後初の休日について販売店におけるお客様の入りはどの程度回復しているのか。
- A. 全てを把握しているわけではありませんが、店頭において以前と同様の集客が戻ったという報告はありません。

Q. COVID-19 感染対策のため、販売店への訪問を控えているとのことだが、訪問して営業を行わなければ契約に繋がらない商品やサービスは全体の売上高においてどの程度を占めているのか。

A. 全体の売上高のおおよそ半分を占める当社において、スポット売上は多くはありません。しかしながら訪問営業が滞ることによって、新規営業を始めとした将来へ向けての種蒔きが進まないという点や、取引先からの減額や休載の依頼への対応において取引単価が落ち込むという可能性はあります。タイヤ販売を行うオートウェイ、タイヤワールド館ベストや輸出事業を行うグーネットエクスチェンジ（旧キングスオート）については、COVID-19 が長期化すれば影響が出てくると考えられます。

Q. プロトリオスはスポット売上が多いと思うが COVID-19 の影響を受けているのか。

A. プロトリオスはシステム販売を主としているため、契約更新の際に継続いただければ大きな影響はありません。しかしながら、COVID-19 の影響もあり、新規営業が停滞していることは事実です。なお、前年実績においては、Windows7 のサポート終了の影響が寄与し好調でありました。

・今後の事業について(決算説明会資料 P.8)

Q. 今後の紙媒体の在り方についてどのように考えているのかを教えてください。

A. 紙媒体の流通については厳しい状況であり、見直す必要があると認識しております。紙媒体としての明確な価値を見いだすことができれば、現状から形を変えて対応していきたいと考えております。

Q. 今後のマーケットにおいて、大手中古車専門店がさらにシェアを伸ばしていくと考えられるが、グーネットのような中古車情報サイトにどのような影響を与えるのかを教えてください。

A. 基本的に中古車は一物一価であり、中古車販売店の保有する中古車在庫コンテンツの集まりがグーネットにあります。飲食店の情報サイトと異なる点として、店舗を探すだけでなく、店舗の保有する中古車在庫をユーザーは探しております。今後は中古車専門店以外でも、例えば整備工場などの中古車も掲載することで、より多くの選択肢をユーザーへ届けること、また、より多くのビジネスチャンスをクライアントへ届けることで、当社独自のプラットフォームを確立していきたいと考えております。

・2021 年 3 月期連結業績予想並びに中期 3 ヶ年計画について(決算説明会資料 P.26)

Q. 次期連結業績予想は非開示にしており、中長期計画は取り下げていないが、次期以降の計画に COVID-19 がどのような影響を及ぼすのかを教えてください。

A. 今期の業績予想を非開示にしている理由としては、COVID-19 の影響が業績に現れるのは 2、3 か月後だと判断したためであります。中期 3 ヶ年計画については、元々開催予定であったオリンピック後の景気の後退を予想した計画を組んでいるため、当社としてはこれまで通りの計画を進めていく予定です。